

全国初

# 災害時の臨床検査技師の派遣及び 臨床検査薬等の供給に関する 協定を締結しました！！



## 協定の内容

### 災害時の臨床検査技師の派遣

### 及び臨床検査薬等の供給に関する協定締結



▶ 締結日: 2025年5月26日(月)

▶ 締結先: 長野県(行政)

一般社団法人 日本臨床検査薬卸連合会

関東甲信越臨床検査薬卸連合会

一般社団法人 長野県臨床検査技師会

▶ 主な協定内容:

災害時の検査技師派遣、検査薬の供給体制の確保

3者での協定は全国初です！

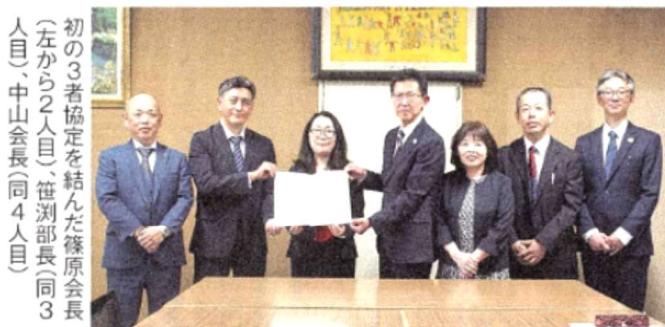


## 阿藤副会長からのコメント

2025年5月、(一社)長野県臨床検査技師会は、長野県と、(一社)日本臨床検査薬卸連合会・関東甲信越臨床検査薬卸連合会と、全国初となる3者協定を締結いたしました。

昨年7月に執行部で長野県健康福祉部長を訪問。まず、長臨技が、どのような団体であるか、過去の災害対応等の活動記録資料を持参し、臨床検査技師には何ができるのか、行政と協力してどんな活動を行ってきたかを説明しました。不慣れな書類の作成には苦労しましたが、県担当者のご協力のおかげで協定書が完成し無事締結に至りました。

長野県では今年1月に、災害発生時に「医療・保健・福祉」が連携する「県保健医療福祉調整本部」を発足させる仕組みを整えました。今後は更に具体的な取り組みについて3者で協議を重ね、訓練や情報共有を通じて連携を深めていくことを、行政からも期待されています。災害発生時には、「人」と「物資」が同時に動くことで、被災した長野県民に対して円滑な医療救護活動が可能となります。今年度は会員の皆様に協定内容や、技師が果たす役割について知ってもらい、研修会等で理解を深め、マニュアルや連絡網の整備を行う予定です。本当の意味で「3者協定」が生かせるように、長野県・卸連合会の皆様と協力して、平時から顔がみえる関係性を大事にし、有事に備えて体制を強化していきたいと思いますので、会員の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



初の3者協定を結んだ篠原会長（左から2人目）、笛渕部長（同3人目）、中山会長（同4人目）

災害発生時、臨床検査技師は深部静脈血栓症関連検査や採血、臨床現場即時検査（POCT）、感染症疾患の検体採取、弹性ストッキング着脱指導といった業務を担う。避難所での感染症拡大防止やエコノミー症候群の予防が災害関連死を防ぐことになり、検査技師の役割は大きい。

この日県庁で行つた締結式で中山県臨技会長は「3者協定により有事の際に人と物資が同時に動くことで、有効に機能することができること」と期待。篠原検

査技師会（中山朋秋会長）、関東甲信越臨床検査薬卸連合会（篠原秀一会長）が5月26日、3者協定を締結した。被災地支援の体制を統一し、「人」と「物資」が同時に動く形を整えることで迅速な医療救護活動につなげる。能登半島地震などを契機に、全国的には技師会と卸連合、都道府県と技師会または卸連合の2者による災害時協定締結が進んでいるが、3者での協定は初めて。（中川久美子）

査薬卸会長は「避難所生活が長引けば、臨床検査が急務」これを機に検査の内容や必要な検査試薬が変わつていて

## 県と県臨技、検査薬卸連が初協定

## 災害時救護活動迅速に

く。的確に対応するためには連携を強化したい」と述べた。笛渕美香県健康福祉部長は「災害対応では、関係者間の情報共有や連携により、災害時に迅速に対応できる体制構築が急務」これを機にさらに連携を深めたい」とした。